

令和7年度

救助資器材搭載型消防ポンプ自動車

C D - I 型仕様書

富士河口湖町

## 消防ポンプ自動車（CD-I型）仕様書

### 第1 総 則

- 1 この仕様書は、富士河口湖町（以下「発注者」という）が令和7年度に購入する救助資器材搭載型消防ポンプ自動車（以下「車両」という）艤装、性能及びこれらに関する一切の仕様について定める。
- 2 車両は、道路運送車両法（昭和26年法律第185号）及び道路運送車両の保安基準（昭和26年運輸省第67号）に適合し、緊急自動車として承認が得られるものであること。また、車体は常時登録された車両総重量の状態において、十分耐え得るものであること。
- 3 艤装材料は、すべて日本産業規格品（産業標準化法昭和24年法律第185号）又は、これらと同等以上の強度及び耐久性を有するものであること。

### 第2 仕様の変更

- 1 本仕様書に掲げるすべての装備、付属品及び資機材等の物品については、発注者の指定する物品とする。なお、同等品を使用する場合は、入札前に性能資料を提出し発注者の承諾を得なければならない。  
同等品の定義は、発注者が同等の機能を有すると認めるものに限る。  
同等品の性能確認については、完成検査及び納車検収時に現車で行うものとする。
- 2 艤装にあたっては仕様の目的が十分達成されるよう製作し、技術上変更を要する場合及び疑義がある場合は、随時「発注者」と協議し承認を得た場合のみ仕様の変更をする事ができる。その場合は、町の指示を受け確認の図書等を取り交わすこと。

### 第3 仕様の確認

- 1 受注者は、本仕様に基づく工事が完全かつ強固に施行できるよう事前に協議を行い、設計・製作・材料・部品等に関し、特許その他権利上の問題が発生した場合は、その責任を負うこと。

### 第4 提出書類

- 1 製作に先立ち次のものを各2部提出し、「発注者」の承認を受けること。
  - (1) 製作承認図（艤装図、キャブ内図面）
  - (2) 工 程 表
  - (3) その他当町が指示するもの
- 2 車両納入時に次のものを各2部提出すること。
  - (1) 完 成 図
  - (2) ポンプ性能検査表
  - (3) 個別検定合格証書の写し

- (4) 自動車検査証の写し
- (5) 工程写真
- (6) 車両重量実測証明書、転覆確度実測証明書、悪路走行試験成績書  
登坂試験成績書

## 第5 検 査

- 1 施工中、工事確認及び指示のため中間検査を行う。
- 2 発注者が適当と判断する時期に完成検査を行う。
- 3 その他「発注者」が必要と認めたときに行う。

## 第6 車両諸元

### 1 車体の構造

すべての資材は、消防車としての特殊用途に合致した精度と強度を有しこの仕様書に特記しないものであっても、その一切は消防施設強化促進法（法律87号）第4条第2項に定める規格及び動力消防ポンプの技術上の規格を定める省令（自治省令第35条）並びに消防防災施設整備費補助金交付要綱に適合したものでなければならない。

### 2 シャン型式

シャンは、最大積載量3 t級ダブルキャブ型の消防専用シャンとし、車両総重量は5 t未満とすること。

### 3 車体諸元

ホイールベース	約2,800mm以下
全 長	約5,800mm以下
全 幅	約1,900mm以下
全 高	約2,800mm以下
定 員	6名（キャビン内6名）

### 4 エンジン並びに電気装置及びその他

エンジン出力	110KW／2,380rpm
総排気量	4,000cc程度
ジェネレーター	24V－80A以上
バッテリー	12V－100AH又は24V－100AH以上
燃料タンク	60L程度
タイヤ	スタッドレスタイヤ
主ブレーキ	油圧真空倍力装置付
キャブ	ダブルキャブ（全鋼製）
オイルパンヒーター	マグネットコンセント型（バッテリー充電器兼用型）

駆動方式

4×4

トランスミッション マニュアルトランスミッション

※シャシのモデルチェンジなどにより諸元が変わる場合は別途協議とする。

## 5 運転席及び隊員席

- (1) 運転席及び隊員席はシャシ固有のものとする。
- (2) 前席後部に、後席用の握り棒を取り付ける。また、防火衣ヘルメット等を掛けることができるフック8個を取り付ける。
- (3) キャブ内天井中央にLED室内灯を1個取り付ける。
- (4) キャブ両側に乗降用踏み台及び握り棒を取り付けること。

## 6 主ポンプ

- (1) ポンプはA-2級ポンプとし、軽量かつ高性能なアルミ製1段ボリュート式ポンプもしくはアルミ製インデューサー付2段バランスタービンポンプとすること。なお、ポンプ羽根車(インペラー)については耐久性に優れたBC製とすること。  
性能は「規格放水性能0.85Mpaにて毎分2100ℓ以上」「高圧放水性能1.40Mpaにて毎分1800ℓ以上」とすること。
- (2) ポンプの架装は、努めてエンジンに近く、かつ、点検整備に便利なように取り付け、上部及び後方は出来るだけ大きく開放出来る構造とすること。
- (3) 主ポンプ及び附属装置を支える補助機は、シャシー、フレームに堅固に取り付け、振動等で緩みを生じないようにすること。
- (4) ポンプドレンコックは、集中型とし30秒以内に残水を完全に排出できるもので、開閉はPTOスイッチに連動する。
- (5) 水ポンプについては日々のグリスアップならびにオイル補充などが不要なメンテナンスフリー方式のメカニカルシールとすること。

## 7 真空ポンプ

- (1) 無給油式真空ポンプとし、高所からの揚水を考慮し、最高真空性能に優れたピストン式真空ポンプ式とすること。
- (2) 真空ポンプへの動力の接・断は電磁クラッチによる構造とし 動力伝達については歯付きベルトによりスムーズな伝達が行えること。  
なお 操作は自動用水装置(液晶モニター)パネルのスイッチにより確実に着脱し揚水完了と同時に自動的に停止するものとし非常用の別系統スイッチを設けること。
- (4) 性能は、30秒以内に真空度が大気中の84%以上であること。
- (5) 揚水完了を示す表示を液晶画面内に取り付けること。
- (6) ポンプは故障等を防ぐ為、安全装置として真空ポンプへのゴミの侵入防止の為のエアフィルターならびに水遮断器を取り付けること。

- (7) 自動揚水システムパネルは、揚水開始から揚水完了までの配管内状況表示、放水口開閉等の状況が的確に判断出来る自動揚水連動の液晶モニターをポンプ操作装置内に左右各1個設けること。
- (8) 真空度ならびに漏気の確認を自動で行える真空テスト機能を設けること。

## 8 動力伝達、ポンプ操作装置

- (1) ポンプへの動力伝達 (PTO) は、電磁スイッチにて行い運転席ならびに左右のポンプ操作室に設けたボタン操作によって行うものとする。
- (2) ポンプ用のスロットルは、電気式としポンプ室左右の各計器を見ながら操作できる位置に取り付け、右回転でエンジン回転上昇、左回転で下降する構造とすること。また、スロットルにはスロットル固定機能や自動調圧装置などの安全制御機能を設け、車体左右のポンプ操作盤で操作できること。
- (3) 圧力計、連成計については凍結による破損の心配のない電子式メーターとし、視認性の向上の為、計器については車体から 45 度程度張り出した状態で取付すること。
- (4) 車体左右にポンプ操作盤 (液晶画面付) を設け、コック開閉表示、流量計、流量積算計、各種警報を表示できること。なお、液晶画面についてはパネルスイッチ方式とし、寒冷地運用が可能な耐寒仕様とすること。
- (5) 故障や不具合の早期発見、解決ができるよう、車両やポンプ装置に関するデータを自動取得・自動発信できる IoT 情報収集端末を設置すること。
- (6) ポンプ操作盤の故障時に備え、非常用の揚水操作装置ならびに非常用のポンプスロットルを設けること。
- (6) 長時間の放水活動を考慮し、シャシの煤燃焼装置の警告を液晶画面に表示できること。

## 9 吸水装置及び吐水装置

- (1) 吸水管は 75mm×10m を、左右各1本とし、スイベルエルボを用いてボールコックに接続すること。
- (2) 吸水口内にストレーナー (取り外し型) を取り付けること。
- (3) 吸水口にエゼクターを取り付け吸水量 1.0 m<sup>3</sup>/min (吸水高 3m) の時に、バルブを全開しても落水せず 60 秒以内に揚水を完了するものとする。
- (4) 吐水口は 65mm 左右各 2 個とし、内 1 個はスイーベル吐水口媒介 (ヨネ ANS-65) とする。
- (5) 中継口は 65mm ボールコック (ストレーナー付) とし左右に各 1 個取り付ける。
- (6) 吸水、吐水、中継口のコックはすべて車体前方側にて開放とする。
- (7) 冬季における凍結防止の為、カップ式の不凍液注入装置を設けること。

## 10 冷却配管

- (1) 冷却配管はバルブにより、ポンプミッションオイルクーラーを経て補助クーラーに至るものとする。配管の詰まりを考慮して予備回路を併設すること。
- (2) 操作はポンプ室右に送水用バルブを設けること。

#### 1 1 照明装置及び警報装置

- (1) 赤色警光灯（スピーカー・標識灯・モーターサイレン内蔵）をキャビン上部前方に取り付けること。
- (2) 車両後部に赤色点滅灯を取り付ける。（保護棒付）
- (3) 車両前部及び側部に、赤色点滅灯を取り付ける。
- (4) 各計器照明用のLEDライトを左右に取り付けること。ライトについては照射角度の調整を任意に行えること。
- (5) 各ボックス内にLED照明ランプを取り付ける。
- (6) ボディ側面ならびに後方へ周囲照射用のLED作業灯を取り付ける。
- (7) 高輝度LEDサーチライトを伸縮柱を設けて左右前ボディ上部に取り付けること。
- (8) 電子サイレンをキャブ内へ取り付けること。

#### 1 2 艀装及びボディ構造

- (1) ボディ構造は、前部よりキャブ・ポンプ室・後部荷台とする。
- (2) サイドエプロン、リヤステップ等は軽量化、防錆の為アルミ縞板とする。
- (3) ボディー上部にアルミ製2連梯子を取り付ける。取付方法は容易に積み降ろしが出来る構造とする。
- (4) ポンプ室上部には左右貫通型のシャッター式収納を設けること。
- (5) 鳶口、管鎗（後部）、スタンドパイプ、ガンタイプノズル、消火栓開閉金具を車外に落下防止を設けて確実に取り付けること。
- (6) 車両左右ステップ、各コック下部・フェンダー上部・吸水管積載部はアルミ縞板張りとする。
- (7) キャブ内後部座席下に自動充電装置を設け、外部100V電源をマグネットコンセントにより車体に接続することで車体バッテリーを充電できる様にする。なお、コンセント部については走行時の巻き上げを考慮した箇所に取り付けること。
- (8) 車両左側吸水管巻上部に鳶口を設置できるように処置を施すこと。  
取付装置については上向きに2本、斜め下向きに1本取付可能な装置を設けること。取付装置については挟み込みの強さを調整できること。
- (9) 車両後部荷台は、シャッター式資機材収納庫とすること。  
後部シャッターボックス内には指定の救助資器材が積載可能な構造とし、必要に応じて固定装置を設けること。
- (10) 車体左側面に分団旗の取付装置を設けること。
- (11) 狭路・小路地対策の為、フェンダー後方部（リアオーバーハング）ステッ

プは、後方に対し設計の許す限り絞りを入れること。また、テールランプはリアステップ埋め込み型とし、吸水管展張時の支障にならない構造とすること。また、吸水管取付金具についてもステップ構造を考慮した展開角度の大きいキヤッチ式の金具とすること。ナンバープレートについても埋め込み式にて取付とし、運用時の支障にならない構造とすること。

### 1 3 ボックス

- (1) 各ボックス内にはスノコ（樹脂製）を入れ、水が入らないようにパッキンを取り付ける。
- (2) ポンプ室左右上部にはシャッターボックスを設けること。
- (3) 車体後部荷台部にはシャッター式の資器収納庫を設けること。別途協議。

### 1 4 その他取付

- (1) キャブ前部中央に赤色座板を設け、消防団章を取り付ける。
- (2) 当町が指定する消防デジタル受令機を新設し、キャビン内の適当位置に取付すること。

### 1 5 塗装及び記入文字

- (1) 車両は充分錆落としの上、プライマー、パテ、サフェーサにより下地処理を行い、充分乾燥させ赤色塗装により3回以上の塗装を行う。塗料はVOC（揮発性有機溶剤）削減、環境負荷物質（鉛など）を一切含んでいない環境を考慮したハイソリッドウレタン塗料を使用すること。シャッター部については無塗装とすること。
- (2) フレーム、フェンダー内側その他車体の下廻りは黒色とする。
- (3) ポンプ室内側及びボックス内は、銀色に塗装すること。
- (4) 次のものは上質のクロームメッキ及びアルマイト処理を行うこと。ただし、鉄製品は銅メッキの上で行うこと。計器盤、各操作レバー、吸水口、吐水口、媒介金具、照明灯、筒先、金具、手摺り、握り棒等。
- (5) 文字の記入は次の通りとする。（色、書体については協議）

後部ドア	「富士河口湖町消防団 大石分団」
標識灯	（別途協議）
キャブフロントパネル	（別途協議）
車体後面シャッター	（別途協議）

### 1 6. 登録手続き等

- (1) 受注者は、車両が完成した時は陸運支局の行う新規登録検査に合格させるものとし、その手続き及び費用を負担するものとする。  
なお、重量税及び自賠責保険料、リサイクル料金は当町の負担とする。

17 補 足

(1) 車両はすべての検査に合格したものを納入すること。

(2) 保証期間は納入後1ヶ年とする。ただし、設計不良、工作不良に起因する不都合が発生した場合は、無償にて修理又は製品の取り替えを行うこと。

18 納入台数 1 台

19 納 期 令和 8年 3月 31日

20 納入場所 富士河口湖町大石 267 番地 消防団大石分団詰所車庫

21 その他

本仕様書に記載されていない事項であっても、当然必要と思われるものについては、契約金額の範囲内で装備すること。

別表1 (シャシー)

番号	品名	仕様等	数量
1	四輪駆動普通自動車	消防専用・4WD・マニュアルトランスミッション	1

別表2 (ぎ装)

番号	品名	仕様等	数量
1	ぎ装一式	CD-1B型 標準ぎ装	1
2	水ポンプ・真空ポンプ変更	高性能水ポンプ・高揚程型真空ポンプ	1

別表3 (取付品及び取付装置)

番号	品名	仕様等	数量
1	ポンプ圧力計	電子式・45度張り出し式	2
2	ポンプ連成計	電子式・45度張り出し式	2
3	エンジン回転計	シャシー標準品	1
4	エンジン油温計	シャシー標準品	1
5	赤色警光灯	標識灯一体型	1
		点滅灯：前部・側部	2
		点滅灯：車体後部左右、保護枠付	1
6	電子サイレン	音声合成装置付	1
7	照明灯	小糸製作所高輝度LED・MYS75LP	2
8	後退警報器	音声式	1
9	標識灯		1

別表4 (軽微な変更として備えることができる取付品及び取付装置)

番号	品名	仕様等	数量
1	電動サイレン		1
2	真空計	リタード式連成計兼用	2
3	ポンプ回転計		2
4	流量計	左右操作盤に表示	1
5	流量積算計	左右操作盤	1
6	キャブチルト装置	シャシー標準品	1
7	オイルパンヒーター	10mコード・車体部コンセント含	1
8	キャブチルト装置	シャシー標準品	1

9	不凍液注入装置	カップ式	1
10	作業灯	周囲照射灯 側面 LIA-200	2
		周囲照射灯 後面 MYSP-L18-W	1

別表5（備えなければならない付属品）

番号	品名	仕様等	数量
1	吸管	呼称 75 mm×10m	2
2	吸口ストレーナー		2
3	吸管ストレーナー		2
4	吸管ちりよけ籠		2
5	吸管枕木	ゴム製	2
6	吸管ロープ	12 mm×10 m	2
7	消火栓媒介金具	75 mm雌ネジ×65 mm町野式雌金具	1
8	中継用媒介金具	65 mm雌ネジ×65 mm町野式雌金具	2
9	消火栓開閉金具	地上式 1 個・地下式 1 個	1
10	吸管スパナ	75 mm	2
11	管鎗	65 mm	2
12	ノズル	可変噴霧ノズル 23mm	2
13	放口媒介金具	65mm	2
		65mm スイベル式・ANS-65	2
14	とび口	1800mm	2
15	金テコ	800 mm程度	1
16	剣先スコップ		1
17	はしご	アルミ製 2 連・3.6m	1
18	車輪止	ゴム製 取手付	2
19	消火器（検定品）	自動車用粉末 20 型	1
20	ポンプ工具	冷却水ストレーナ用スパナ	1

別表6（軽微な変更として備えることができる付属品）

番号	品名	仕様等	数量
1	タイヤチェーン		1
2	分岐管	65mm	1
3	ホースブリッジ	CB450	1
4	ワイヤー	牽引用ロープ（蛇腹ロープ）	1
5	ホース背負い器	65 mm用・アルミ製軽量型 MAC002	2
6	スタンドパイプ	アルミ製・単口引き上げ式	1
7	特殊ノズル	X ノズル 65A	1

別表7（特殊装備品）

番号	品名	仕様等	数量
1	自動揚水システムモニター	左右各1基・液晶画面式	1
2	路肩灯	LED	2
3	消防章		1
4	バッテリーメインスイッチ	キー連動艤装メインスイッチ	1
5	補修塗料	赤色	1
6	バッテリー充電器	過充電防止機能付	1
7	バックアイカメラ	後報監視モニタ（シャシ純正品）	1
8	旗立パイプ	SUS 製	1
9	低水位ストレーナー	フローティングストレーナー-S	1
10	ポンプ操作部 PTO スイッチ		2
11	資器材収容用アルミボックス	車体天井部	1
12	防火衣 防火帽（しころ付）		6
13	ハンドライト	SPERAS EST	2
14	ヘッドライト	SW-20 LED	6
15	資器材収容用アルミボックス	車体天井部	1
16	消防用デジタル受令機	新設	1

別表8（救助資器材）

番号	品名	仕様等	数量
1	エンジンカッター	電動式ベビーサンダー・マキタ	1
2	チェーンソー	エンジン式・替刃2	1
3	チャップス		1
4	ゴーグル		6
5	携帯用コンクリート破壊器具	パークシプレスキューツール	1
6	油圧ジャッキ	MHC-2RS	1
7	照明装置	照明装置 NOMAD360	1
		蓄電池 500W ポータブル電源	1
		投光器 33W LED式	1
		三脚	1
		コードリール 屋外型	1
8	大斧	グラスファイバー	1
9	可搬ウインチ	X-5	1
10	ガソリン携行缶	5L	1

11	担架	携帯型ソフト担架	1
12	掛矢	木製	1
13	拡声器	ハンドメガホン	1